

日本生物防除協議会シンポジウム

開催のお知らせ

農業生産において、天敵製剤や微生物製剤を利用した生物農薬を利用する動きは世界的に大きな流れとなっており、我が国においても各地で継続的な取組が行われています。今後、農業現場で生物農薬の更なる普及のためには、新たな防除方法との組合せや普及技術の開発が欠かせません。

本シンポジウムでは、微生物殺虫剤の作用機構、光を利用した新しいIPM防除技術の講演や、生物防除の普及が進んでいる地区の先進的な事例などを紹介いたします。また、本シンポジウムでは「生物農薬の未来を語ろう」をテーマに、講演会後にポスターセッションにて講演者と参加者との交流会も行います。

生物農薬への一層の理解を深め、全国の普及のきっかけとなるよう、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

日時

2018年2月27日(火) 11:00~17:50

場所

東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール
東京都文京区本郷7丁目3-1

参加費

3,000円(講演要旨代として)
※シンポジウム終了後、同会場にて懇親会を行います(懇親会費別途5,000円)

定員

350名

お申込期間

2018年1月9日(火)~2018年2月23日(金)

*定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

お申込方法

日本生物防除協議会ホームページ <http://www.biocontrol.jp/>
WEB: シンポジウムページよりお申し込みください。
FAX: FAX申込専用用紙にてお申し込みください。 **03-3643-6538**

主催 日本生物防除協議会

後援 ■農林水産省 ■国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター
■日本植物病理学会 ■日本応用動物昆虫学会 ■日本農薬学会 ■一般社団法人日本植物防疫協会
■公益財団法人日本植物調節剤研究協会 ■一般社団法人農林水産航空協会
■一般社団法人全国農業改良普及支援協会 ■農薬工業会 ■全国農業協同組合連合会 ■全国農薬協同組合

参加申込みに関して
のお問い合わせ

シンポジウム事務局
ホクト株式会社(担当:永井)

TEL:03-3643-0633
E-mail symposium@e-hokuto.co.jp
(受付業務時間/平日9~17時)

「生物農薬の未来を語ろう」

第2回

日本生物防除協議会シンポジウム

シンポジウム プログラム

※敬称略

11:00 ▶ 開 会

11:05 ▶ 基調講演 「昆虫病原菌のファイトバイオームにおける生態学とそれを考慮した防除法」
帯広畜産大学 環境微生物学研究室 小池正徳

*** 休憩 12:05～13:05 ***

13:05 ▶ 特別講演 「新しいIPM資材 青色LEDによる光殺虫効果」

東北大学大学院農学研究科 堀 雅敏

14:05 ▶ IPM 事例報告

「長野県における生物農薬を活用したアブラナ科野菜の病害防除の取り組み」

長野県野菜花き試験場 佐久支場 石山佳幸

14:30 ▶ 「宮城県におけるIPMの現状と今後の展望」

宮城県農業・園芸総合研究所 関根崇行

14:55 ▶ 「性フェロモン剤によるカキ害虫防除の取り組み」

島根県農業技術センター 澤村信生

*** 休憩 15:20～15:35 ***

15:35 ▶ 「アカメガシワクダアザミウマの利用技術の開発」

高知県農業技術センター 下元満喜

16:00 ▶ 「天敵にとって不利な条件を我々の技術開発で克服できるのか？」

鹿児島県農業開発総合センター 柿元一樹

16:25 ▶ 「宮崎県での総合的作物管理体系の普及状況～“宮崎方式ICM”の定着に向けて～」

宮崎県総合農業試験場 黒木修一

16:50 ▶ 声明発表 「日本の生物農薬の利用促進に関する声明」

アリスライフサイエンス(株) 和田哲夫

17:00 ▶ 閉 会

17:05 ▶ ポスターセッション

18:00 ▶ 懇親会

会場案内

東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1
TEL:03-5841-0779 FAX:03-5841-0932

交通案内

●最寄り駅

本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩8分
本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線)	徒歩6分
湯島駅または根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩15分
東大前駅 (東京メトロ 南北線)	徒歩10分

●都営バス利用

東大赤門前 (都営バス 東43・茶51)	徒歩1分
----------------------	------

